



# 技術史教育

第122号

2020.4.30

Education for History of Technology

第122号目次	日本技術史教育学会2020年度総会・研究発表講演会の中止のお知らせ……………牛山 泉(1)
	「関西支部2020年度(通算第17回)総会報告……………渡部 紘一(1)
	お知らせ・理事会議事録・編集後記……………(2)

【総会案内】

## 日本技術史教育学会2020年度 総会・研究発表講演会の中止のお知らせ

日本技術史教育学会  
会長 牛山 泉(足利大学)

会員の皆様にはいつも、日本技術史教育学会の学術研究活動につきましてご理解とご協力を頂きありがとうございます。改めてお礼を申し上げます。

さて本日(2020.4.16)、政府は新型コロナウイルスによる感染拡大の防止をさらに強化するため、特別措置法に基づく緊急事態宣言を、先に指定した国内7地域から全国に拡大する旨を公表しました。これを受けて、首都圏を始め全国的に様々な行事の中止が進むものと思われま

す。前号のニュースレター第121号(2020.1.31発行)で皆様にお知らせしましたように、本学会2020年度総会・研究発表

講演会(2020.6.6:サレジオ工業高等専門学校で開催)についても参加者の健康維持と安心安全とを最優先させるため、急遽中止することにいたしました。

先に関西支部2019年度総会・研究発表講演会(2020.3.14)を、新型コロナウイルスによる罹患防止を目的にやむなく中止させて頂きましたが、ウイルスが広域的に日々蔓延しつつある現状からは、それに続く措置をとるべきであろうと考えております。

今回の総会・研究発表講演会の中止に伴う代替措置については以下のように致しますので、会員各位のご理解とご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### — 記 —

#### ①2020年度総会中止に係る代替措置

- 1) 2020.4.30 発行予定のニュースレター第122号及び学会ホームページで、2020年度総会・研究発表講演会の中止を会員各位に周知する。
- 2) 現在編集の学会機関誌「技術史教育学会誌」に総会議案書を同封し、書面審議を頂く。
- 3) 現理事会は学会運営維持のため、2020年度全国大会(松江)まで任期を暫定的に延長し担当する。
- 4) 次期役員候補については2020年度全国大会(松江)で提案、または2021年度総会まで現理事会の業務担当延長について提案し、審議頂く。

- 5) 総会での表彰(学会創立25周年記念・功績賞・業績賞・感謝状等)は、2020年度全国大会(松江)で実施する。

#### ② 2020年度研究発表講演会中止に伴う代替措置

- 1) 既発表申込者については、12月に開催予定の全国大会(松江)に優先して発表権利を担保する。

以上。

尚、2020年12月開催予定の全国大会(松江)についても、今後の状況を考慮しながらやむなく中止させて頂く可能性があることも併せてお知らせいたします。会員の皆様には健康を最優先され、新型コロナウイルスの罹患には十分ご留意くださるよう、重ねてお願い申し上げます。

【関西支部行事報告】

### 【関西支部 2019 年度総会(通算 17 回)報告】

元関西支部長 渡部 紘一 (元松江高専)

題記は、3月14日(土)、大阪産業大学 梅田サテライトキャンパスにて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、理事会と相談し、2月末に、急遽中止した。

特別講演を含め17件の講演申込みを頂き、翌日は見学会(明石海峡大橋・橋の科学館)を予定していたが、参加登録者には総会資料と論文集を郵送

し、議案と論文質疑をメール審議の形で行い、論文集は「既発表扱い」となった。

2020年度役員は、関西支部長:南 正晴, 総務幹事:山岡 章宏, 企画幹事:井上 敏孝, 会計幹事:岡村 征二, 会計監査:久間 英樹, 顧問:下間 頼一, 林 和宏が選出された。

## 【電子メールアドレス登録に関するご協力のお願い】

堤 一郎(筆頭・総務担当理事)

新型コロナウイルスが広域的に拡散し、政府はこれに対処するため緊急事態宣言の対象区域を全国に拡大しました。それに伴い、本学会 2020 年度総会・研究発表講演会も中止とさせて頂きました。この事態がいつまで続くのか予想できないため、今後の理事会の対応やニュースレター発行の連絡を、会員の皆様に速やかにお知らせしたいと思っております。つきましては、標記のように各位の電子メールアドレスをお知らせ頂き、これをメーリングリストに登録し、迅速な情報提供を行いたいと思っております。あわせてニュースレターの郵送についても、要・不要のお尋ねをいたします。今後は学会ホームページに掲載し、そこからダウンロードして頂く方式に逐次移行したいと考えております。お知らせ頂きました各位のメールアドレスは、本学会からの連絡以外には使いませんし、情報の管理も致しますのでこのことをご理解頂き、ご賛同くださる方は下記宛、締切期日までに必ずご一報ください。現状の収束と早い時期の終息を期待いたしますが、会員の皆様もどうかご自身の健康には十分ご配慮くださるよう、重ねてお願い申し上げます。

◆送付先及び締切期日：堤 一郎(茨城大)、  
ichiro.tsutsumi.mechanics@vc.ibaraki.ac.jp,  
2020年5月22日(金)。

◆電子メールアドレス登録に関する同意事項：返信の際、次の事項を必ず記載願います。①日本技術史教育学会への電子メールアドレス登録に「賛同」します。②紙媒体のニュースレターは「要・不要」です；どちらかを消してください。③「賛同年月日、会員氏名、電子メールアドレス」。

◆その他：勤務先、住所変更などございましたら、併せて記載してください。

## 【 訃 報 】

中国・北京航空航天大学の郭 可謙先生が、2020年3月4日(水)、午前9:30に逝去されました。97歳でした。郭先生は日中機械技術史国際会議の実現にあたり多大な努力をなされ、そのお力をもって1998年10月に第1回会議を同大学で開催することができました。その後の開催についても中国側で中心的役割を果たされ、2009年6月には本学会の功績賞を受賞されています。郭先生が育てた多くの

お弟子さんたちが常に先生の周囲におられ、国際会議開催に向けた努力を惜しまなかったことは、研究者・教育者としてのお人柄を強く感じます。ご逝去にあたり、本学会から牛山 泉会長始め歴代会長・関係者の連名で、郭先生の奥様に弔文を郵送いたしました。郭 可謙先生の長年のご尽力に改めて感謝申し上げ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 【 会 員 動 向 】

2020年3月30日現在の会員数を以下に示します。

顧問	正会員	学生会員	維持会員
5名	98名	5名	1団体

## 【 書 籍 紹 介 】

□吉田 勉、『19世紀「鉄と蒸気の時代」における帆船』、溪水社、ISBN978-4-86327-519-5

## 【 理 事 会 議 事 録 】

◆第160回(通算203回)理事会

日時:2020年4月25日(土)、新型コロナウイルス感染防止の為メール審議

議題 0)前回議事録(案)審議、1)総務委員会:会員動向、会費未納者に対して、HP関連、表彰者について、新型コロナウイルス対策検討等、2)編集委員会:学会誌、NL発行等、3)企画委員会:2020年度総会中止対応に関して、4)関西支部2019年度総会研究発表講演会報告、5)その他、6)次回理事会:未定

## 【2020年度会費納入のお願い】

2月に郵送いたしました振込用紙で2020年度会費の納入をお願い致します。本学会の運営は会員の皆様の会費でおこなわれています。2019年度までの会費未納の方も、早急な会費の完納にご協力ください。

## 【 編 集 後 記 】

日本列島で新型コロナウイルスが猛威を振るっております。教育機関においても遠隔授業など早急な対策で乗り切ろうとしております。このような厳しい状況ですが、別な見方をすると新たな技術発展の機会にもなっていると思います。とは言え一日も早く危険な目に見えない敵に打ち勝ち、会員の皆様と語りあえる日がきます事を祈っております。

(穂積洋一)

日本技術史教育学会ニュースレター 第122号  
2020年4月25日 印刷  
2020年4月30日 発行



発行者  
編集

技 術 史 教 育  
Education for History of Technology

日本技術史教育学会 会長 牛山 泉  
日本技術史教育学会  
(株) プラス・ワン 気付 日本技術史教育学会 事務局  
〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル6F  
TEL/FAX: 03-3835-2494  
E-Mail: jseht@nifty.com